

理事長 高林実結樹

スリーA主催の認知症予防研修会が最終回と聞いて、静岡の指導者研修を受講しました。

スリーAは、平成4年に軽度発病の方たちの合宿教室(引き戻し)からスタートし、9年間19期実施されました。平成10年からは発病前のランクで、週1回の通所20回教室を並行して開催。通所ならば職員研修を行えば開設できる、と確信されて職員研修会を開始される等など、認知症予防事業を展開してこられました。

私は合宿教室開設の翌5年9月に公開された雑誌で、スリーAの実績を読みました。3ヶ月間の脳活性化リハビリ訓練(楽しいメニュー)の結果、参加前と終了後とのMMSテストの比較が、5回の教室平均で6.2点も上昇していたのです。目に見える生活改善はすばらしく4〜5年のくいとめと云われています。通所20回の教室での成果は、全国平均のMMSテストで、27.6点〜4.4点の上昇という、これも高い成績です。

スリーAの予防ゲームでは、直近の記憶の継続訓練、古い記憶の引き出し、簡単な計算、読み書き、リズム感、感性、人間関係、協調性、認知機能、自信と生活意欲の取戻し、不安感の取除き、関節・筋肉・横隔膜の運動、俊敏性、それらが同時進行でじわじわと自然に改善します。特に二次予防に相当する特定高齢者の認知症予防に適

性です。

国の制度では「介護予防」は運動・栄養・口腔の3本柱が主であるために、特定高齢者のレベルで有効性の高いスリーA方式の予防教室の数が増えにくくなってきたのです。

たとえば、今までせっかく行われていた地方の自治体職員のスリーA研修派遣が、介護予防3本柱に予算振替されるとか、実績を積んできた予防教室が町村合併によって閉鎖されたりしています。

介護予防が打ち出されたために、認知症

予防が必要な今の時代に、まるで逆行現象の

ような現実を聞かされて、なんとも言いがたく残念に思いました。

当法人はこのような時に、何をなすべきでしょう。逆行現象の地域があるならば

ばなおのこと、老人クラブや、小規模施設にこちらから出かけて行って、実質認知症予防を実践する、スリーA方式の予防ゲームのリーダー養成を個人伝達でも行う、出来ることに全力で取り組む！それを目標にしたいと思っています。

真に必要な有効な認知症予防に、夜明けの時代がはやく来ますように、雲のカーテンを押し開き、雲の道標を打ち立てたいと思います。

## すばらしいスリーA

～静岡研修を受講して～



9月6日から三日間、今振り返っても凄く充実した日々でした。増田先生の認知症高齢者に対する熱い思い、先生からご指導を受けた人々からの感謝のメッセージを拝読させていただくとスリーAをしつかり身につけていきたいと思います。増田先生には三日間手取り足取り教えて下さりありがとうございました。

うーんと長生きして私たちに元気なご指導をお願いいたします。

この素晴らしい体験を京田辺地域の福祉現場のみなさんにも共有させてあげたいです。そして高齢者

の方々が明るい気持ちで過ごせる方法があることを伝えたいです。「あきらめたらあきらめよう一緒に歩みましょう」と。そのために多くの人がこのスリーAに関心を持っていただきたいと思います。交流会ではたくさんの方と交流することが出来ました。皆様これからもよろしくお願ひします。この研修を準備して下さった増田先生とスタッフの皆さまありがとうございました。最後にになりましたがこの研修会の参加に導いて下さった高林先生に感謝申し上げます。

京田辺市 柴田 田鶴子

川西市 鈴木 美智江

近頃、日常生活の中で、何となく動作が鈍い、人の名前がでない、漢字が書けないといった物忘れを自覚していた時、スリーA認知症予防ゲームへ明るく、頭を使って、あきらめないに出会いました。その後、地域活動、趣味等、活発にされていた方が認知症になり、本人はもちろん家族も認知症の症状であると認めず、周囲の人が気付いてアドバイスをしても受け入れないため症状が進んでしまいました。残念なことです。

他人事とは思えない状況の中で、スリーA方式を提案された、静岡の増田末知子先生の認知症予防研修会に参加し、認知症の予防と早期対応の大切さを痛感しました。老人問題が毎日のように報道されている中で、予防するための具体的な方法にはふれられないままです。

増田先生は、かなりの実績報告があり、現在もスリーA予防ディサービス「折り梅」を開設して認知症予防に取り組むと同時に、後輩の育成にも力を入れておられることを、今回の研修を通して実感しました。スリーA方式は、実にわかりやすく合理的にできています。リーダーも認知症の人も一丸となれる、笑いを根本に据えたゲームです。おためしあれ！と関係者の方々に申し上げたい気持ちです。





ゲーム20種目の中でも人気の高い「シーツ玉入れ」。大人が夢中になって大きな声をあげる活力満点のゲームです。道具の作り方も工夫を積みかさねて完成度を高めました。

(写真は、池田市民健康まつりで三世代参加のシーツ玉入れ)

## 広がる スリーAの輪

「1」

年分笑ったわ」  
と参加者の  
喜びの声

池田市  
山本 秀子

私は大阪府池田市の地域包括支援センターの職員として勤務しています。超高齢社会を迎えた今、認知症の人が増えることが予想されることから、特定非営利活動法人「生きがい大阪主催の「認知症予防指導者養成講座」に参加し、スリーAと出会いました。3日間の体験で、難しい、楽しい、これなら皆さんに続けてもらえるのではないかと感じました。講座終了後、川西市の「認知症予防ケアグループ」の認知症予防体験教室を知り、月1回参加をするようになりました。

同時にキャラバンメイトとして、「認知症サポーター養成講座」を担当するようになったこともあって、講座の参加者が認知症予防に関心が向くだろうと予想できました。そこで、池田市でも認知症予防ゲームスリーAの講習会を高林理事長と福井さんをお願いをしました。池田市に4ヶ所ある地域包括支援センターの職員全員に呼びかけ、池田市高齢介護課と健康増進課の保健師も加わり、週1回

で4回連続の企画でしたが、仕事の時間を調整して毎回ほぼ全員参加をしました。

終了後は、それぞれの地域で介護予防講座に取り入れたり、転倒予防体操とスリーAをセットで取り入れています。ゲーム終了後、「1年分笑ったわ」と参加者の喜びの声を聞き、うれしく思っているところです。

また、今年は年1回開かれていた「池田市民健康まつり」で、地域包括支援センターのブースでもスリーA予防ゲームの体験を行い、福井さんの応援を得て市民へのPRに努めました。今後市民の中から継続してスリーAをしてくださるリーダーさんを育て、市内あちこちで広がっていけるようにしたいと思っています。

イ

ンストラクター  
養成100名

健生ネットワーク京都  
代表 真田 滋子

「認知症予防に、スリーAゲームが効果がある」という事を耳にしたのは、5年ほど前のように記憶しております。

その間にも、高齢化は年々進み、介護保険制度の方もスタートして

10年が経過しますが、毎年といってよいほど、目まぐるしく制度改正がなされて来ています。

中高年齢者の、健康と生きがいを支援する「健生ネットワーク京都」におきましても、時代に沿った活動が求められるようになり、平成20年度の事業として、「認知症予防教室インストラクター」養成講座を、高林実結樹先生のご指導のもとで開講して、スリーAゲームとの本格的な出会いを頂きました。

その後も、毎年自主事業として「認知症予防教室インストラクター」養成講座を開講し3年目になります今回も、南丹市におきまして7月3日～31日まで延べ10講座を実施、24名の受講生がスリーAの真髄を学び、修了証を取得してくれました。

開講当初は笑顔が見られなかった受講生も、回を重ねることに表情が良くなり、優しい笑顔が見られるようになった事を嬉しく感じました。人にやさしさのシャワーを浴びせることによって、自分自身も優しさをもらっている様子がうかがえます。

過去3回の研修で約100名近い人がスリーAゲームのリーダーとして学び、超高齢社会にどのようにつなげて行ってくれるか、会と致しまして出来る範囲で見守り、ホローは必要かと思っております。

既に、地域でネットワークをつく

り、行政へ活動の場を取り付けて「スリーA認知症予防講座」を展開している所もあり、確実にスリーAの輪が広がっている事を実感されております。

また、行政の保健衛生課（介護保険課改め）の「すこやか教室」の指導者として、昨年度に引き続き、今年度も要請を頂き出講しております。スリーAゲームを取り込んだ講座が大変好評で、今までにない楽しい「すこやか教室」として喜んで頂いております。

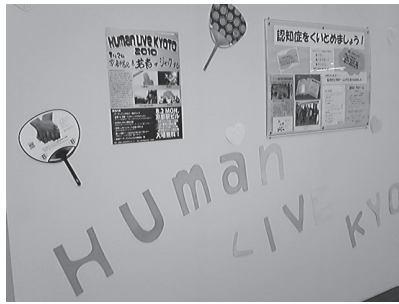
教室が終わり、別れ際に見せてくださる眼差しが忘れられず「また次回にね」という気持ちで、酷暑を振り払い日々疾走しております。

スリーAゲームを事業に取り入れることが出来た事は、中高年齢者の健康と生きがいを支援する立場であります「健生ネットワーク京都」にとりまして、大きな財産を確保した思いであります。

これからも、スリーAを合言葉に、超高齢社会に向け広がっている輪をしっかりと根付かせ、沢山の笑顔を増やしながらか認知症予防に、ひいては介護保険料抑制に少しでも繋がればと願っております。







## A あかるく A あたまを使って A あきらめない

8月2日  
京都駅ポルタヒューマンフェスタでの展示

宇

治田原町  
広報誌より転載

広報モニター(南区)  
福田 千枝子

南女性の会研修で、NPO法人認知症予防ネットで活動され、今、お母さんを在宅介護されている福井恵子さんのお話を聞きました。当日は、会員外の方を含め約20名の方が参加され、今までに私が経験したことのない形式での研修でした。

講師を含め出席者が全員、円になって座り、話を聞く、質問する、ゲームをする…という具合です。

NPO法人認知症予防ネットでは「スリーA」「AIIあかるく、AIIあたまをつかって、AIIあきらめない」をモットーに、日本中津々浦々へ認知症の予防や対策の啓発に活動されています。

認知症は誰もが最も関心のある病気の一つだと思います。

加齢とともに発症率が高くなりますが、それを少しでも遅らせるには、どのようなことに気を付けたいのか…。家族や周りの人が少しでも早く、異常に気付いてあげることが一番です。

異常といっても人それぞれです

が、「普段穏やかな人が、言葉使いが偉そうになったり、人格が変わって別人のような感じになる」「自分から症状を訴えて、頭がボーッとするので医者に連れて行って欲しい」と言うなどのケースがあるそうです。

認知症の人に接するときはまず、にっこり笑って、相手にきつくり向き合うこと、そして、ゆっくりペースに合わせるようにする。また、プライドを傷付けないようにする。一緒の時間を作るのも大切だそうです。

これらの話を聞いたあと、指の運動からはじめて、数え歌に合わせて、おしゃみを使ったり…。

ゲームを通して、上手に出来た人も、そうでない人も腹の底から笑って、楽しい時を過ごすことができました。

日進月歩で医療も進んでいます。が、「薬で笑顔は戻りません」という先生の言葉が強く印象に残りました。

認知症は、とても重たい課題です。参加者の中でも、今家庭で、問題を抱えている方もおられました。が、参加して、いろんな話を聞いて、前向きに歩踏み出されたのではないかと思います。

今後二つひとつ教えてもらったことを思い出しながら、地域のサロンで、ゲームなど、楽しめたらなと思っています。

親

父、変わったなあ」と息子さん

城陽市  
山田 昭子

城陽市にある老人施設「NPO法人友愛ホーム」では、2008年より「物忘れ予防教室」が開設されています。

20回シリーズのスリーA方式をとり、第4回目が9月末で終わろうとしております。

その間、様々なホットな出来事が生まれました。

ここで一例を紹介したいと思います。

N氏ですが、奥様から「仕事筋で、とてもよく働いてくれた主人です。昨年退職し、家に居るようになってから、会話もなくなり引きこもりがちで、どうしたらいいのかわからず、思案をしていたところ、この教室のことを聞き、参加しました。」とのことでした。

最初は奥様同伴で来られ、ほとんどお話をすることなく、淡々とさ

れ暗い表情でした。

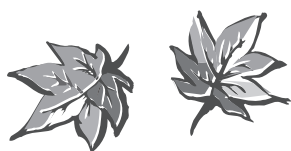
ところが4回、5回と回を重ねるごとに一人で参加されるようになり、にこにことお話とお話されるではありませんか。

奥様が来訪されて、「主人が変わりました。とても明るくなり、会話はずみ、近所の方や周りの方がおどろいている」と、涙ながらに話してくださいました。

又、お盆に息子さんが帰宅され、「おやじ変わったなあ。何かあったのか? 明るくなって楽しそうやなあ」と言われたそうです。スリーAの物忘れ教室に行っていることを話すと、大喜びされ、「そんないい教室があるのか」と、お父さんにエールを送られたそうです。

現在では今年の猛暑の中、一人にこやかに参加され、教室での2時間のゲームや運動を皆さんと楽しまれ、時にはユーモアな会話が飛び出し、笑いの渦に巻きこんでくださっています。

何事も早期発見が大切です。脳の活性化、認知症の予防を目指す方、どうぞスリーA方式の予防教室に参加されますように。日々明るく前向きに過ごそうではありませんか。





大阪府枚方市小倉校区福祉委員会・老人クラブ共催の「地域出前・健康講座“ストップ!ザ認知症”」に招かれて、スリーAの認知症予防の講演と脳活性化ゲームの体験を楽しんでいただきました。壁ぎわの立ったままの方もおいに笑ってくださいました。(9月16日)

お

## 寺の講座で スリーA

福知山市認知症予防の会  
スリーAチャレンジ  
村岡 洋子

第二回はゲームその1「輪になつてウォーミングアップ」だけでしたが、皆さん「えーっ!」なんてできひんのやろ」と目をきらきらさせて夢中ではまりこんでいました。二回目は、前回のやさしいとゲームその2「スキップ・リズム234拍子からお手玉回し・どじょうさん」まで。

三、四回と進みシツ玉入れとじゃんけんゲームにまで辿り着きました。

2時間半とたつぱりの時間があるので沢山ゲームができますし、1時間半経過した時点で「服しておやつも用意されています」。

最終回には食堂のテーブルを使って、広告パズルとビンゴゲームを、その後本堂へ移動して、これまでのおさらい。少し丁寧に、それぞれのゲームが、脳の活性化とどのように繋がるのか、認知症の兆しに不安を持つておられる方の場合、このゲームを通してどのようにして優しさのシャワーを伝えられるのか、そのために私達参加したボランティアはどうすればいいのかな等を話しながらゆつくりと進めました。

皆さんは、広告パズルに興味を持って、本当に良く笑った、新聞広告でこんなに面白く遊べるなんて、考えたこともなかった、と思いきり楽しめました。広告主に



なつたつもりで、広告紙を使って、自己宣伝をして下さい、と言つて、うまくできた人には拍手喝采、その一方、きれいだと思つて選んだけれど、何の広告か分からなくて、私らもつ世の中から遅れてるねーとまた大笑いです。

この講座の参加者は、特にスリーAのことを学びたいと思われたわけでもなく、仕事をもっている方も殆どなくて、おあらかじめ気ままに参加されています。その方達をこんなに惹き付け、生き生きと大笑いさせ、もつと知りたいたい夢中にさせるスリーAは本当に不思議な魅力を持っているのだと改めて感動しました。

「ためにはなつても見るだけ、聞くだけ」の講座が多い中で、自分が主役になつて「することがつ」の要因にはなつているのでしよう。毎年やれたら認知症予防に繋がるのでは、と思えてきました。

予告

## 「これからの認知症予防を考える講演会」が冊子になります!

2010年5月16日、内閣府政策統括官(経済財政運営担当)の山崎史郎氏を講師に迎えた講演会。その講演内容や当日のアンケート結果などをまとめた冊子を近日発行します。どうぞご期待ください。

## 五

月の講演会で  
花開いた感性運営委員  
赤松 ふさ枝

果を確信され、現在も「スリーA予防デイサービス『折り梅』」で認知症予防に取り組んでおられる。また、全国に広める活動もされている。

この研修会を受講して、広報活動が始まり6年前にNPO法人認知症予防ネットを立ち上げた。私も、NPO法人の運営委員として活動に参加し5年になる。

「スリーA」の名称は、「あかるく・頭を使って、あきらめない」の頭文字を集めてつけたもので、認知症予防のキーワードで、「スリーA」の理念である。やさしさをシャワーのように浴びせ、脳活性化のゲームを行い、脳の機能レベルを上げることが目的としている。次に「スリーA」の考え方を、認知症の誘因や高齢者の特徴などおさらいしながら話した。

計算する力、理解や判断する力が低下して認知症の世界へ入っていく初期の時に、寂しさを癒し楽しいゲームをして、脳に刺激を与える。経過を逆にたどり、寂しくつらい生活から抜け出させて、楽しかった頃の状態に戻れば、物忘れも減りよい状態になるのではないか。初期の認知症の方は、やる気や、勇気、活気がないため、周りの人のお誘いや、心使い、優しさがないと、自分から仲間に入ることが出来ない。

このように、なぜ、「スリーA」が必要なのかという話を考え方にそって話しながら、ゲームを進めていった。ゲームの前には自己紹介、日付の確認と夢の旅行に行く。教室の終わりには旅行から帰ってきて、茶話会で旅行の行き先やお土産をみんなで

思い出す。ゲームは、4種類に分けてあること、内容や、効果、役割、ポイントなどを話しながら、ゲームを体験してもらった。

その一は自分の手を使ったゲーム。脳は手や指からの刺激を他の臓器より一番多く受ける。手の基本動作、グーパーから始まって、正しい動かし方こそが効果を生み出す。お隣さんとのスキんシップ、タッチを主としたその二のゲームでは、爆笑の渦となる。その三はルールを決め記憶の引き戻し、注意力、集中力、観察力を養う。その四では全員と関わり、体を動かして声を上げて楽しさを感じ、クライマックスとなる。

リーダーはルールの説明をしっかりと伝え、皆が理解できた上でスタートする。最初はゆっくり、皆が楽しめるよう出来ない人のペースを守る。その二でのお手玉返しなどで、うまく回せずたまってしまうても、それは「お金持ち」と言う。手元がない人へは「優しいから皆さんにあげたのね」とねぎらう。はじめは出来なくても、皆の前では教えないその人が出来ること出来る早さを守る。それが仲間であることをゲームを通して伝えた。その時その場で、質問したり、説明をはさんだりして、体験ゲームを進めていった。



体験教室の何日か後に、担当の准教授より、授業を受けた学生のアンケートが送られてきた。多かった感想では、ゲームはどれも楽しかった。出来ない人を目立たせない工夫が大切で皆で笑ったことが、暗く寂しい人にもつと必要とわかった。ゲームは皆で輪になって一緒にすることで、手と手が触れあい、他者との距離が近づき、親しみを感じる、みんなの顔を見ながら楽しむ事で、不安が軽減して、居心地のいい場所と思えるのではないかと。輪になってすることには意味があり引きこもりの人だけでなく、老若男女楽しめるゲームだと思った。「スリーA」はレクリエーションの一つと思っていたが、頭や心に刺激があつて、予防効果が期待できるのではないかと思った。やさしさのシャワーの意味が、ゲームをしながらわかった。優しさは人間を育てる際に一番大切であり、介護においても大切だと思った。障害のある人にも出来るゲームがあり、工夫して現場でも取り組んでみたい。ゲームはただやるのではなく、体や心の観察も大事、また、リーダーが楽しんでるのも伝わってきたので、「一緒に楽しむ事が必要」と思った。

人間の尊厳を守ること、それがスリーAの精神でもあり、障害を持った人の介護、認知症の介護を行ううえで必要かつ、基本的なことである。講演での学びと、研修を通して伝えたいことが、若い感性で反応していただけたことに感動し、今後も今回いただいた言葉を励みに活動に頑張っていきたいと思う。

会場が満席となるほど大勢お集まりいただき、その中に大学で社会福祉を学んでいる学生さんが、学外学習で参加してくれた。講演後の学生さんからのアンケートでは、「スリーAのことは初めて知った。これほどの素晴らしい効果があるゲームを、実際に体験してみたい」という熱い回答をいただいた。

さっそく同大学に向いて、授業の中で「認知症予防ゲーム」を体験していただくこととなった。

当日の体験研修では、NPO認知症予防ネットの活動の歴史と、現状からお伝えした。「スリーA」は平成四年静岡の看護師、増田未知予さんが考案された認知症を予防する方式で、自ら教室を開設しその効



## 今後の予定 (10年10月1日～)

### 【講演】

10月16日 京都府宇治市／平盛学区福祉委員会  
 10月21日 兵庫県川西市／萩原台自治会  
 10月22日 京都府福知山市／福知山市地域包括支援センター  
 11月16日 大阪府池田市／池田市地域包括支援センター  
 11月18・19日 栃木県下野市／小山市  
 11月25日 大阪府豊中市／豊中市健康福祉部福祉事務所  
 11月27日 京都市右京区／京都警友会右京支部

### 【教室等】

10月28～12月4日 兵庫県川西市／認知症予防ケアグループきらら／3回  
 10月3日 京都府宇治市／きらきらクラブ  
 10月3日 京都府城陽市／ハイランド自治会  
 10月10～11月28日 京都府宇治市／青い鳥の会／4回  
 10月18日 京都府八幡市／吉井松里自治会福祉部  
 11月20日 京都府八幡市／第3住宅管理組合

### 【講習会】

10月12～11月9日 兵庫県川西市／認知症予防ケアグループきらら／3回  
 10月14日～11月18日 奈良県香芝市／居宅介護支援事業すばる／2回

### 【その他】

11月7日 展示／京都府宇治市／宇治市コラボネット福祉まつり  
 11月21日 展示／京都市南区／京都ヒューマンフェスタ2010  
 12月4・5日 イベント／京都府宇治市／あさぎりフェスティバル2010

## 事務局からのご案内

### 会員募集

認知症高齢者の増加が見込まれる中、私たちは、認知症予防教室の全国津々浦々への拡大を願い、スリーA方式による成果の素晴らしさを広報するために、日々活動を行っています。趣旨にご賛同くださる方は、ぜひ会員となって、活動を支えてください。

詳しくは事務局へお問い合わせください。

(1)正会員 — 入会金 2,000円  
 年会費 6,000円

(2)賛助会員

個人 入会金 1,000円  
 年会費 (1口) 2,400円 1口以上  
 団体 入会金 3,000円  
 年会費 (1口) 24,000円 1口以上

郵便振替口座

加入者名 NPO法人認知症予防ネット  
 口座番号 00900-1-223642

## 認知症予防ネット購読者募集

年3回定期発行 送料込み年500円。お申し込みお待ちしております。(会員には無料配付)

### 編集後記

酷暑の夏も「スリーAの輪」は拡がり、教室やサロンでは、笑いの渦で暑さを吹き飛ばしていました。  
 スリーA静岡研修には、NPO講演関連で10名もの受講生!京田辺市からの参加者から、増田末知子先生を招聘しての職員研修をされる、との嬉しいニュースも入っています。(福井)

## 活動報告 (10年6月1日～9月30日)

### 【講演】

6月8日 京都府京田辺市／健康ケ丘区福祉部ふれあいサロン  
 6月12日 京都府井手町／ミニサロン「和み会」  
 6月18日 兵庫県川西市／パレット川西8周年フェスタ  
 6月30日 京都府綾部市／豊里老人クラブ連合会  
 7月16日 兵庫県神戸市／7月住吉・御影地区ネットワーク会議  
 7月21日 京都府木津川市／木津川台ゆうゆうふれあいサロン  
 7月24日 京都府宇治田原町／宇治田原町南女性の会  
 7月29日 千葉県千葉市／さつきが丘いきいきセンター  
 9月5日 大阪府池田市／第19回池田市民健康まつり  
 9月16日 大阪府枚方市／小倉校区老人会／福祉委員会  
 9月27日 大阪府八尾市／八尾市地域包括支援センター緑風園

### 【教室等】

6月3日・7月1日 京都市左京区／幡枝スリーAあじさいの会／2回  
 6月5日～9月4日 兵庫県川西市／パレット川西／4回  
 6月13日～9月19日 京都府宇治市／青い鳥の会／7回  
 6月14日～9月13日 京都府宇治市／西小倉福祉センター／2回  
 6月17日・7月1日 三重県松阪市／松阪市役所介護高齢課／2回  
 7月11日 大阪府池田市／池田さわやか包括支援センター  
 7月17日 京都市左京区／さくらんぼの会  
 7月21日～9月13日 京都府八幡市／吉井松里町内会福祉部／3回  
 7月24日 大阪府枚方市／グループホームたんぽぽ  
 8月28日 京都府宇治市／ケアセンターまごころ宇治  
 9月10日 京都府城陽市／こころとカラダの元気づくり講座2

### 【講習会】

6月1・7日 大阪府池田市／池田市地域包括支援センター  
 7月3・24日 京都府八木町／健生ネットワーク京都／2回  
 7月4～31日 京都府福知山市／スリーAチャレンジ認知症予防の会／3回  
 8月19日～9月16日 奈良県香芝市／居宅介護支援事業すばる／2回  
 9月14・28日 兵庫県川西市／認知症予防ケアグループきらら

### 【交流会】

6月19日・7月17日 京都市上京区／寒梅館／2回

### 【提言】

7月3日 京都市中京区／御所南小学校  
 7月14日 京都府宇治市／豊中市役所関係者  
 8月11日 京都市伏見区／韓国江南大学関係者

### 【その他】

8月2日 展示／京都市下京区／京都駅ビル  
 7月6日 ラジオ／京都府宇治市／FMうじ  
 7月31日 レクチャー／京都府宇治市／学生

## スリーAの 認知症予防 ゲームのテキスト

…… 好評発売中! ……

書名 認知症予防ゲームーテキストー  
 著者名 高林実結樹  
 発売所 中西印刷株式会社 出版部  
 番号 ISBN978-4-87974-623-8  
 金額 1000円+税50円+送料(180円)